

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年 1月 6日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 1 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	3号機	換気空調系非常用ディーゼル発電設備(B)電気品室温度指示スイッチ(U41-TICS106)において、警報設定値(9.0℃以下)に対して給気温度は4.6℃であったにも関わらず「D/G(B)給気温度高/低」警報が発報しないことが認められたため、当該温度指示スイッチを点検・修理。 なお、当該警報は非常用ディーゼル発電設備や換気空調設備の制御には用いていないため、警報が発報しないことによる影響はない。	GⅢ	12月25日